

製品名: SRRM1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18286**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 99kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------|
| 遺伝子名 | SRRM1 SRM160 |
| 別名 | |
| 遺伝子 ID | 10250.0 |
| SwissProt ID | Q8IYB3 |
| 免疫原 | ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド |

背景

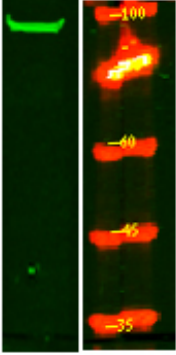
機能: スプライシング前後の多タンパク質 mRNP 複合体の一部。多数のプレ mRNA 処理過程に関与する。スプライソソームの配列特異的因子 (SR ファミリータンパク質、SFRS4、SFRS5、TRA2B/SFRS10) と基底 snRNP (SNRP70 および SNRPA1) を架橋する

ことにより、恒常的およびエクソンスプライシングエンハンサー（ESE）依存性のスプライシング活性化を促進する。エクソンジャンクション複合体の形成とは独立して、mRNAの3'末端切断を促進する。エクソン-エクソンジャンクションの20~25ヌクレオチド上流にあるプレ mRNA とスプライスされた mRNA の両方に結合する。RNA および DNA に低い配列特異性で結合し、二本鎖または一本鎖の核酸基質に対して同様の選択性を示します。類似性:スプライシング因子 SR ファミリーに属します。類似性:1つのPWIドメインを含みます。サブユニット:スプライソソーム C 複合体で同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3 で構成されます。MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。SFRS4、SFRS5、SNRP70、SNRPA1、SRRM1、SRRM2 とともに pre-mRNA スプライシング複合体を形成する。SNRP70、SNRPA1、SRRM1、TRA2B/SFRS10 とともに pre-mRNA エクソンスプライシングエンハンサー（ESE）複合体を形成する。DEK、PRPF8、NCBP1、RBM8A、RNPS1、SRRM1、THOC4 とともに mRNA スプライシング依存性エクソンジャンクション複合体（EJC）を形成する。BAT1、CPSF1、RBM8A、RNPS1、THOC4 と相互作用する。ATP 依存的にスペクルから放出される RNA 輸出複合体の化合物であると考えられる。機能: スプライシング前後の多タンパク質 mRNP 複合体の一部。多数の pre-mRNA 処理イベントに関与する。スプライソソームの配列特異的因子（SR ファミリータンパク質、SFRS4、SFRS5、TRA2B/SFRS10）と基底 snRNP 因子（SNRP70 および SNRPA1）を架橋することにより、恒常的およびエクソンスプライシングエンハンサー（ESE）依存性のスプライシング活性化を促進します。エクソンジャンクション複合体の形成とは独立して、mRNA の 3'末端切断を促進します。エクソン-エクソンジャンクションの 20~25 ヌクレオチド上流にあるプレ mRNA とスプライスされた mRNA の両方に結合します。RNA および DNA に低い配列特異性で結合し、二本鎖または一本鎖の核酸基質に対して同様の選択性を示します。類似性:スプライシング因子 SR ファミリーに属します。類似性:1つのPWIドメインを含みます。サブユニット:スプライソソーム C 複合体で同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3 で構成されます。MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。SFRS4、SFRS5、SNRP70、SNRPA1、SRRM1、SRRM2 とともに pre-mRNA スプライシング複合体を形成する。SNRP70、SNRPA1、SRRM1、TRA2B/SFRS10 とともに pre-mRNA エクソンスプライシングエンハンサー（ESE）複合体を形成する。DEK、PRPF8、NCBP1、RBM8A、RNPS1、SRRM1、THOC4 とともに mRNA スプライシング依存性エクソンジャンクション複合体（EJC）を形成する。BAT1、CPSF1、RBM8A、RNPS1、THOC4 と相互作用する。ATP 依存的にスペクルから放出される RNA エクスポート複合体の集合体と考えられる。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、RNA プロセッシング、スプライシング

画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。